

支部会員の異動

(敬称略)

63期 荻田英樹 札幌東高校教頭 → 札幌月寒高校副校長
 84期 藤原慶太 札幌琴似工業高校 → 稚内高校

ご退職 ～ 長い間、お疲れ様でした ～

54期 赤津博久 北見緑陵高校教頭(役職定年後の特例任用)
 54期 飯田正義 函館市立鱒川中学校
 54期 板橋友子 江別市立野幌中学校
 54期 菅原淳 小樽桜陽高校
 55期 小島政裕 幕別清陵高等学校長
 55期 加藤哲朗 旭川北高校
 55期 志賀葉子 江別高校
 57期 芳野修一 有朋高校

 道内の高等学校長や教育研究所長を歴任されたのち、北海道教育大学大学院(旭川校)特任教授を務められた北村善春氏(50期)が、このたび札幌新陽高等学校長にご就任されました。

また、道北分会長を務められ、3月まで再任用教諭として芦別高校で勤務されていた吉野泰正氏(55期)が、埼玉県立入間わかさ高等特別支援学校へ転出されました。

※間違いや記入漏れがありましたらお知らせください。また、転居先住所の連絡もお願いします。

令和6年度 道北分会を開催しました

令和6年12月7日(土)、北都・旭川市の隠れたジギスカンの名店「4・6Sheep」において、4年ぶりに道北分会が開催されました。参加者は支部役員含めて別掲の7名。今回は、定年退職後にご自宅で書道教室を開かれた戸波徹さん(49期)や吉野泰正さん(55期)の分会長退任に伴い、次期分会長就任を快諾いただきました工藤昌彦さん(56期)が出席いただきました。また、分会幹事である松林豪さん(59期)の教え子さんも出席いただき、きめ細かい対応をしていただきました。ありがとうございます。

分会役員のお二方には業務多用のところご苦勞をおかけしますが、道北分会そして北海道支部の発展のためにお力をお貸しくださいますよう、紙面にて改めてお願い申し上げます。

道内第二の都市・旭川の気温は-7度と厳しい寒さではありましたが、幹事の皆さまやお店の方々に温かい対応をしていただき、上機嫌で旭川の夜を満喫しました。

【参加者】戸波 徹(49期・旭川市) 佐賀 敦司(49期・札幌市) 工藤 昌彦(56期・旭川市)
 若松 顕仁(56期・清里町) 松林 豪(59期・旭川市) 佐々木 伸(74期・千歳市)



令和7年支部新年会開催しました

1月8日(水)、札幌市の「三川屋会館」で令和7年新年会を開催しました。参加者は別掲の8名。

18時よりスタートした新年会の目玉は、道南分会員で講談師でもいらっしゃる「荒到夢形」(本名・荒井到)師匠による新作を含めた講談2席の口演でした。

特に、本学の創設者である「三島中洲」を題材にした新作の「三島中洲伝」は、中洲の師である山田方谷との関わりや幕末・明治の偉人たちとの交わり、さらに漢学塾・二松學舎創設までの道のりを名調子で口演いただきました。

参加者からは、「三島中洲の偉大さを再認識した。」「師



匠の講談を生で聞くことができました。参加してよかった!」などの感想が寄せられました。

口演後、懇親会をスタート。支部長の挨拶に続き、若松事務局長の乾杯で開宴。美味しい料理に舌鼓を打ちながら参加者一人ひとりから「近況や今年の抱負」を語っていただきました。

また、支部長から令和7年初場所の番付表と相撲カレンダーが、事務局長から文具が、さらに、口演いただいた荒到夢形師匠からも函館の銘菓を「お年玉」としていただきました。心のこもったお品、本当にありがとうございました。最後に全員で校歌を歌い、宴たけなわの会は奥村悠二郎顧問のご発声でお開きとあいなりました。



今回参加できなかった皆様は、ぜひ次回も新たな企画を準備しておりますので、奮ってご参加いただければと願う次第です。また、道内出身の在学生はもちろん、帰省や出張、旅行などとタイミングが合いましたら、ぜひご参加いただければ幸いです。その際は事務局までご一報ください。支部一同、熱烈歓迎いたします。

本年も北海道支部の活動にご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参加者】

(講師) 荒到 夢形 師匠(51期・函館市)
 (会員) 奥村 悠二郎(36期・札幌市) 佐賀 敦司(49期・札幌市) 鈴木 隆(50期・室蘭市)
 工藤 昌彦(56期・旭川市) 若松 顕仁(56期・清里町) 富永 貴之(65期・千歳市)
 佐々木 伸(74期・千歳市)

【お詫びと訂正】

前号の会費等の納入者一覧記事で「小島政彦」氏とあるのは、「小島政裕」氏の誤りです。誤掲載をお詫び申し上げます。訂正いたします。申し訳ありません。

令和7年度支部総会のご案内

今年度の支部総会を次のとおり開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

と き 令和7年8月30日（土）18:00～

ところ ホテル札幌ガーデンパレス

札幌市中央区北1条西6丁目3-1 Tel 011-261-5311

講 演 『江戸期における絵画と文学の発展について』

講師 北海道大学大学院文学研究院専門研究員 文学博士 相庭 達也 様

※講演後、支部総会を開催します

会 費 お一人 ￥7,500 当日会場にて申し受けます。

出 欠 同封の葉書または事務局宛メールにて、8月9日（土）までにご返信ください

大学トピック

「二松學舎新聞」96号によりますと、今年度も道内の高等学校から両学部に入學しました。入學生の出身高校は次のとおりです。

【文学部】札幌国際情報高校・北海高校・クラーク記念国際高校・星槎道都高校

【国際政治経済学部】釧路明輝高校・クラーク記念国際高校

会費納入について特段のご協力をお願いします！！

※年会費は3,000円、終身会費は15,000円です。



会費等納入ありがとうございます【令和6年12月～令和7年6月】

○一般年会費（3,000円） 吉野 泰正（55期）、富永 貴之（65期）、齊藤 裕子（69期）

○通信費カンパ 吉野 泰正（55期）

Eメール通知にご協力ください

郵券代の値上がり等を鑑みて、メールアドレスの通知を承諾いただいた会員の皆さまには、支部会報等の資料をEメールで送付しております。これまで、15名の会員からご承諾いただきました。

つきましては、この取組に対してご賛同いただき、メールアドレスの通知をご承諾いただけましたら下記メールアドレス宛にお知らせください。よろしくお願い申し上げます。

なお、ご提供いただいた個人情報につきましては、当支部事務局で適正に管理するとともに、当支部の活動以外には使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

北海道支部グループLINE ぜひ登録を!!

会員同士の連絡網「松苓会北海道支部グループLINE」を開設し、既に多くの会員の皆さまにご登録いただいております。右の「QRコード」を読み取っていただき、ぜひご登録をお願いいたします。

なお、このグループLINE上では会報の送信などは扱いません。支部会員皆さまの情報交換の場といたします。

訃報 相談役 山崎郁紀氏ご逝去

前道南分会長としてご尽力された田島氏も

20年以上の長きにわたって事務局長を務めていただいた相談役の山崎郁紀氏が昨年12月10日にご逝去されました。山崎氏は、停滞していた支部活動を再建された中心メンバーの一人。奥村悠二郎支部長（当時）とともに支部発展のためにご活躍いただき、松苓会本部にも支部活動の重要性を訴え続けていらっしゃいました。道東・道南・道北の分会設立にも大きく寄与され、局長引退後も毎年の総会や新年会、各分会総会にご出席いただき、道内広域にわたる会員との交流を深められました。実は新年会参加者がお土産としていただく「論語カレンダー」は氏のお計らいによるものです。

また、道南分会長としてご尽力いただいた田島基義氏が昨年11月22日にご逝去されました。田島氏は函館市役所での勤務をはじめ、公立はこだて未来大学の事務局長等を歴任されました。道南分会長を務められ、支部や分会の発展にご尽力いただきました。

ここに、お二方のこれまでのご功績と支部・分会発展のためにご尽力いただきましたことに対し会員一同感謝を申し上げますとともに、衷心より哀悼の意を表します。



山崎氏(右から4人目)と田島氏(左隣)[H29 道南分会]